

副作用について

あなたがお受けになったBCG膀胱内注入療法は、有効な治療法ですが、治療後に副作用が起こることがあります。大部分の副作用は通常2～3日の内におさまります。

よくみられる症状

- 頻尿（トイレの回数が増えた）、排尿の時に痛みがある、尿に血が混じる→通常は2～3日でおさまります。
- 発熱（37～38℃台）→通常は1～2日で下がります。

これらの症状が3日を超えて続く場合や、症状が強い場合、また、まれではありますが、下記のような症状のある場合は重い副作用の可能性があるので、すぐに病院にご連絡ください。

注意が必要な副作用

- 38℃以上の熱が2日を超えて続く、ひざ・肩・ひじの関節が痛む、目のかゆみ・充血・腫れ、痰の無い咳が続く、息苦しさを感ずる、体に発疹・蕁麻疹が出たなど

緊急時・夜間連絡先

BCG膀胱内注入療法後 最初の排尿を ご自宅でされる方へ

BCG（ビーシージー）膀胱内注入療法後にご注意いただきたいことをご案内いたします。わからないことや疑問に思ったことがあれば、医師・看護師・薬剤師などの医療スタッフに遠慮なくお尋ねください。



BCG膀胱内注入後の最初の尿にはBCGが出てくるため、尿の消毒が必要です。

BCG膀胱内注入療法は、生きたBCGを膀胱内に注入する治療ですので、治療後は膀胱の中のBCGが尿と一緒に出てきます。尿と一緒に出てきたBCGで家族の方や看護する方が感染したという報告はありませんが、念のため消毒しておいた方が安心です。膀胱内に注入したBCGの大部分は最初の尿に出てきますので、2回目からは消毒の必要はありません。

● 排尿に関する注意点

- **座って排尿してください。**
 - ・尿が飛び散らないようにするため
 - ・尿を出し切るため

- 排尿した後に急に立ち上がるとたちくらみが起きることがありますので注意してください。



● 尿の消毒の方法

- 排尿後の便器の中に200mL (200cc) の家庭用の塩素系漂白剤を加えます。

家庭用の塩素系漂白剤の例

「ハイター®」、「キッチンハイター®」などの次亜塩素酸ナトリウムを成分とするものをご使用ください。

「ワイドハイター®」(衣料用) のような酸素系の漂白剤は使用できません。



- 便器の中に漂白剤を加えたら、**5分間**放置してから流してください。
- 漂白剤を加えると塩素ガスの泡が出ることがあります。**窓を開ける、換気扇を回す**など十分に換気を行ってください。
- 消毒中は誰もそのトイレを使用しないようにしてください。

- 手、指はよく石鹸などで洗って、きれいに水で流せば、消毒薬での手洗いは必要ありません。
- 治療を受けた当日とその翌日は尿をたくさん出すために、できるだけ水分をとりましょう。